

令和 7 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(三条)学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	<p>安全・衛生の確保</p> <p>健康の管理・情緒の安定</p> <p>基本的な生活習慣の確立</p> <p>社会生活技術の獲得</p>	<ul style="list-style-type: none"> 登所時、帰所時の安全指導。 登所時や食事、おやつ時の手洗い及びペーパータオル、ハンカチ使用の励行。 子どもたちの様子、会話を通して、心理状態や健康状態の把握。 登所、帰所時や食前後の挨拶の励行。 整理整頓、片づけの徹底。 宿題の習慣化。 当番活動の定着及び自主活動の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 東山警察署と連携しての交通安全教室やバス停からの登所経路の安全指導など、主に交通安全指導を徹底した。 登所時や食事おやつ前の手洗いができるよう徹底した。同時に、ペーパータオルやハンカチの使用についても徹底した。 職員の役割分担の明確化。子どもたちの様子で気になることを職員間での話し合い。子どもの指導に関して共通理解する。子どもの家庭状況などについても情報交換。 登所の挨拶で始まり、帰所の挨拶で終わるという一連の流れを子どもたちが身につけられるよう声かけをした。 整理整頓・片づけを通して、物を大切にすることにも伝えた。 宿題を登所後、スムーズに始められるようになってきた。宿題→おやつ→遊びの流れが出来てきている。 当番活動を通して、責任感・自主性・リーダー性を身につけさせたい。毎日の積み重ねにより、子どもたちに少しずつ能力として身につけていけるようにしたい。
子ども育成機能	<p>生活体験の拡大</p> <p>社会性の養成</p> <p>自立の促進と自主性の尊重</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会的マナーを習得する。 季節感を味わえるような行事。 交流活動 トラブルが起こった時の自治活動。 グループ活動を通して、自発性・自主性を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 所外活動において、公共交通機関を利用することで、公共の場でのマナーやルールが子どもたちに身に付くようにした。 年間行事において、日本の伝統的な催しや季節を感じられるような行事を計画した。 地域の方々との交流を通して、人との出会いを大切にすることの経験を目指した。 コミュニケーション不足の子どもたちに、言葉で伝えることの大切さを促した上で、話し合いの場を設けることにより、自分の感じたこと・思ったことを相手に伝えられるように支援した。また、同時にトラブルが起こらないようにするにはどうすれば良かったかなども合わせて考えさせた。 グループ活動を通して、他の意見を聞き、考え、行動できるような能力を身につけさせたい。また、グループの一員としての自覚も合わせて身につけさせたい。
子育て支援機能	<p>子育てに必要な情報の提供と交換</p> <p>子育ての仲間づくり</p> <p>子育てを支えるネットワーク形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 月便りの紙面を通して保護者にも活動を伝え、協働しての「子育てを」進めた。 らびっと通信による学童内外の子どもたちの様子を家庭に発信する。 行事や保護者との懇談などを通して、保護者との連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学童からの手紙など、必ず目を通すように声かけをした。また、期日までに提出のものは、必ず提出するように合わせて声かけた。 便りを通じ保護者とも連携を図った。 各配布物により、行事や子どもたちの様子などを家庭に発信した。 各行事の開催にあたっては、出欠確認のほか保護者に声かけし、保護者の考えや、参加がしやすくなるような雰囲気作りや工夫を行った。 子育て支援「協立スクール」の活動にも参加させていただき、地域の方や他の子どもたちとも交流、体験ができた。